

「安来市人口ビジョン」の見直しについての意見募集の結果及び意見に対する安来市の考え方

1. 意見募集の結果について

募集期間	令和7年2月5日（水）から令和7年3月6日（木）まで
資料公開場所	政策企画課（安来市役所安来庁舎2階） 広瀬地域センター（安来市役所広瀬庁舎1階） 伯太地域センター（安来市役所伯太庁舎1階） 安来市ホームページ
意見提出者数	1名
意見項目数	1項目
意見の取扱い	意見の中に、個人が特定されるおそれがある表現が含まれている場合、個人又は団体等の権利、競争上の地位その他正当な利益に影響を及ぼす恐れがある場合など、必要に応じて置き換え等の加筆修正や削除をしています。

2. 意見の内容と安来市の考え方について

No.	項	意見の内容	市の考え方等
1	27～	目標人口の項目に関係人口の項がありませんが、将来の人口減の抑制しいては人口増に向け、関係人口を増やす取り組みも重要と考えます。このことについて、市外から越してきた目で見た事柄について述べたいと思います。 市外から広瀬町内に越してきて驚いたことのうち、二つの事柄を題材に意見を述べます。 1. 足立美術館は毎日のように県外から多くの来館者があるのに、周りには飲食店も地元の物産店もない。また、宿泊施設は鷺の湯温泉しかなく大型バスで来館した人が宿泊できそうにない。 2. 夢ランドや道の駅広瀬・富田城に行ったら毎週水曜日が休みとなっており、県外から車で来た方が休館と知って帰って行く光景を何度も見ました。 これに比べ、関東地域（埼玉、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬）の観光地（施設）や道の駅は、おしなべて「もう一度行ってみたくなる」魅力があるし、工夫がなされている印象です。それは、関東圏では来訪者が多いため、絶えず、お客のニーズに沿わない施設やお店は淘汰されてしまうため、施設のアップデートと魅力度アップが図られているからだと思います。 一方、安来では来訪者が少なく、リピーターも少ないためなのか、施設や提供メニューのアップデートが図られない気がします。 足立美術館の隣にリニューアルされた安来節演芸館がありますが、安来節が好きな方が集う施設というイメージしかありません。せめて足立美術館の来館者の一割でも立ち寄ってもらえる施設が、何故ないのでしょうか。鷺の湯温泉近くの公園には温泉が垂れ流しされているのに、もったいない。また、道の駅ですが、道の駅の魅力がないばかりか、道の駅を名乗りながら定休があるなんて不思議でなりません。私が行った関東近県では見たことがありません。まるで、来なくてもいいよと言っているようなものです。 多くの地方自治体が、人口が減少する中関係人口を増やそうと努力しているのに、安来市（島根県全域が同様なのか分かりません）は関係人口を増やすきっかけとなる観光客を「大切に思わない」し、真剣に観光客を「増やす気がない街」なんだなと思ってしまいます。 民間と連携し、観光客の魅力度をアップする施策を取り組んでください。	本ビジョンは、持続可能なまちづくりのために維持すべき将来の定住人口の目標を示すものであり、関係人口については、本ビジョンにおいて言及すべき事柄ではないと考えています。 一方、社会移動の改善を目指すに当たっては、関係人口の増加は重要な視点であると認識しています。 関係人口の増加も含めた、社会移動の改善のための具体的な取組・施策については、「第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第3次安来市総合計画」において取りまとめていく考えです。 個別の施設等に関するご意見につきましては、関係課と共有し、今後の施設運営等の参考とさせていただきます。